

24-03-05

## 日本将棋連盟と協力して「将棋とれいん」を運行します

名古屋鉄道は、3月12日より公益社団法人日本将棋連盟（東京都渋谷区、会長：羽生善治、以下「日本将棋連盟」）と協力して、名鉄瀬戸線において将棋のルールや詰将棋の問題ポスター等、将棋にまつわるコンテンツで車内を装飾した「将棋とれいん」の運行を開始します。

詳細は、下記のとおりです。

### 記

#### 1. 実施の背景

名古屋鉄道は、瀬戸線沿線を舞台として、沿線自治体や教育機関、各事業者等の地域の皆さまと連携し、瀬戸線沿線の新たな価値創造に向けた活性化に取り組む「瀬戸線沿線価値向上プロジェクト」を実施します。

同プロジェクトの一環として、日本の伝統文化である「将棋」を通して「地域の発展と活性化」に取り組む日本将棋連盟と協力し、藤井聡太竜王・名人とゆかりのある瀬戸線をさらに活性化することを目指します。

2024年に創立100周年を迎える日本将棋連盟の「将棋」、地域を活性化する事業に取り組み、創業130周年を迎える名古屋鉄道の「沿線地域・住民とのつながり」という強みを相乗効果で高め、「将棋を通した地域価値向上」を推進していきます。

#### 2. “初手” 「将棋とれいん」の運行

「将棋を通した地域価値向上」の“初手”として、地域の皆さまに将棋とのコミュニケーションを創出します。瀬戸線を沿線地域・住民との“コミュニケーションメディア”と捉え、運行する1編成（4000系4両）を将棋コンテンツで装飾した「将棋とれいん」の運行を開始します。同列車は、将棋のルールや詰将棋の問題をデザインしたポスターで車内をジャックし、車体を将棋の駒がデザインされたステッカーで装飾します。

##### (1) 装飾イメージ



車内ポスターイメージ

ボディステッカーイメージ

(2) 運行期間

3月12日(火) ～ 4月12日(金)

※今後「将棋とれいん」第2弾など、鉄道コンテンツを活用した地域の皆さまとのコミュニケーションを続けます。

3. “二手目” 日本将棋連盟との「将棋とれいんプロジェクト」の取り組み

「将棋を通じた地域価値向上」の“二手目”として、日本将棋連盟と協力し、学校への棋士を派遣する「将棋とれいんプロジェクト」を立ち上げます。これは、子供たちに将棋と触れ合える機会を創出することで、集中力・考え抜く力などポータブルスキルを育む機会を設け、教育分野での地域価値向上を目指すものです。

以上